

2023 Spring

新宿パークタワー アトリウムコンサート

新宿パークタワーが贈る春のアトリウムコンサート。

噴水広場を望む高く開放的な空間のもと、
生命力あふれるベートーヴェンの名曲をお楽しみください。

ベートーヴェン

序曲《コリオラン》ハ短調 op.62

Ludwig van Beethoven

Coriolan Overture in C minor, op.62

ベートーヴェン

交響曲第7番 イ長調 op.92

Ludwig van Beethoven

Symphony No.7 in A major, op.92

指揮 澤橋 淳

Conductor Jun Sawahashi

コンサートマスター 七澤清貴

Conductor Kiyotaka Nanasawa

セブン・ブリッジ・オーケストラ

Seven Bridges Orchestra

2023年4月19日水 1回目▶12:00～13:00
2回目▶18:00～19:00

会場：新宿パークタワー 1F アトリウム

入場無料

入場無料

2023
Spring

新宿パークタワー アトリウムコンサート

楽曲解説

● ベートーヴェン：序曲《コリオラン》ハ短調 op.62

Beethoven: Coriolan Overture in C minor, op.62

1807年（37歳）、ベートーヴェンの友人の劇作家ハインリヒ・ヨーゼフ・フォン・コリンが書いた、古代ローマの英雄コリオラヌスの悲劇に触発されて書いた作品です。ベートーヴェンが、第5番《運命》、第6番《田園》など名曲を次々と生み出していた時代で、《コリオラン》はロプロヴィツ侯爵邸で開かれた私的演奏会において、作曲家自身の指揮によって第4番などと一緒に初演されました。心の葛藤を音楽で見事に表現しています。

● ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 op.92

Beethoven: Symphony No.7 in A major, op.92

《田園》を書いてから約4年後に完成し、ナポレオン戦争のさなかの1813年（42歳）、ベートーヴェン自身の指揮で初演されました。各楽章、特徴のあるリズムを中心に進んでいく作品で、リストはこの作品を「リズムの神化」、ワーグナーは「舞踏の聖化」と呼びました。

第1楽章 Poco sostenuto - Vivace	イ長調4/4拍子 — 6/8拍子。力強い和音で始まる序奏のあと、付点音符による軽快なリズムでフルートが第1主題を高らかに歌います。
第2楽章 Allegretto	イ短調2/4拍子。葬送行進曲風のリズム上に「永遠のアレグレット」と呼ばれるほど哀愁味を帯びた美しいメロディを持つ曲。初演の時、この楽章がアンコールされました。
第3楽章 Presto, assai meno presto	ヘ長調3/4拍子。ベートーヴェンが得意としたスピード感溢れるスケルツォ楽章です。テンポを落としてのどかな雰囲気のトリオを2回はさみます。
第4楽章 Allegro con brio	イ長調2/4拍子。圧倒的な疾走感の中で、弱拍にアクセントを持ったリズムが執拗に繰り返されながらエネルギーが蓄積されていきます。それが解放された時の音楽は凄まじく、まさに狂喜乱舞の世界です。



ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン Ludwig van Beethoven

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン（1770-1827）は、ドイツ・ボンのケルン選帝侯の宮廷楽長だった祖父、宫廷歌手だった父から最初の音楽教育を受け、11歳より宮廷オルガニストのネーフェからピアノ、オルガン、作曲を学びます。22歳の時にウィーンへ移住し、ハイドンにも師事しながら、ピアノの即興演奏の名手としてデビューしますが、25歳でピアノ協奏曲第1番、30歳で交響曲第1番、そして弦楽四重奏曲、ピアノソナタなどあらゆるジャンルの名曲を生み出す作曲家へと成長していきます。しかし20歳代後半から難聴が悪化していき、32歳の時に有名な「ハイリゲンシュタットの遺書」を書くほど、40歳でついに全聾となってしまいます。それでも56年の生涯で《英雄》《運命》《田園》そして《第九》など、現在でもクラシック音楽の中心となる作品を数多く残し、後世の作曲家に与えた影響は大きなものとなりました。今回は彼の作品の中でも人気の高い《コリオラン》序曲と交響曲第7番をお届けいたします。

指揮：澤橋 淳 Conductor: Jun Sawahashi



東京学芸大学大学院修士課程（音楽学）修了。これまで指揮を崎田俊治、村方千之、湯浅勇治、ハンス・グラーフ、アンドレイ・アニハーノフの各氏に師事。2009年サンクト・ペテルブルク国立アカデミー交響楽団を指揮。2007年に七澤清貴氏とともにセブン・ブリッジ・オーケストラを結成し、新宿パークタワーでの公演は今回で21回目を迎える。

コンサートマスター：七澤 清貴 Concertmaster: Kiyotaka Nanasawa



東京藝術大学付属音楽高校、同藝術大学、パリ・エコールノルマルを全て首席で卒業。多久興、海野義雄、ブローダス・アール、レイ・グレーラー、マックス・ロスタル、ファンタナローザの各氏に師事。スイスにてロスタルコンクール第1位。スイス ビエール市立交響楽団で3年間コンサートマスターを務め、帰国後、神奈川フィルハーモニー管弦楽団で20年間コンサートマスターを務める。ソロ、室内楽でも全国的に活躍。アンサンブル・ソノール代表。

セブン・ブリッジ・オーケストラ Seven Bridges Orchestra

クラシック音楽をより多くの方に伝えるために2007年に結成。東京オペラシティや新宿パークタワーのアトリウムコンサートに出演。国内外で活躍する若き少数精銳メンバーでクオリティの高い音楽を目指す。

※1970年代、淀橋浄水場跡地に7棟の超高層ビルが建設されたことで発展してきた西新宿は、その後も次々とビルが建設され、現在は日本を代表する超高層ビルの街となりました。このオーケストラ名の由来は、西新宿のさらなる活性化のために、ビルのアトリウムを中心にオーケストラが巡回演奏することで、人の交流の橋渡しをしたいという思いから「セブン・ブリッジ」と名付けられました。

2023年4月19日水 1回目▶12:00~13:00
2回目▶18:00~19:00

会場：新宿パークタワー 1F アトリウム

お問い合わせ

運営：東京ガスコミュニケーションズ株式会社
東京都新宿区西新宿3-7-1 TEL 03-5322-6521

主催：東京ガス不動産株式会社

交通アクセス

JR新宿駅南口から徒歩12分
西口エルタワー前より10分間隔で無料バス運行



チラシ作成日：2023年2月